

ネコノシタ *Wedelia prostrata* (Hook. et Arn.) Hemsl.

【選定理由】

個体数階級 2、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有度階級 1。海浜性の植物で、愛知県では生育地が少ない。

【形態】

多年生草本。茎は長く地をはい、節から根を出す。葉は対生し、2~8mmの柄があり、葉身はふつう長楕円形、ときに卵形または披針形、長さ1.5~4cm、幅4~14mm、質は厚く、短い剛毛があって著しくざらつく。花期は7~10月、頭花は斜上した茎の先に1個つき、黄色、直径16~22mm、総苞は半球形で、総苞片は卵形である。そう果は長さ3.5~4mm、花床の鱗片で包まれ、冠毛は目立たない。

【分布の概要】

【県内の分布】

渥美(芹沢 59714) 常滑(梅田零奈 595) 知多南部(岡田美之 1022) 大原(1968, 1971) によれば、田原赤羽根、蒲郡(三河大島、西浦) 幡豆、半田武豊にもあったという。

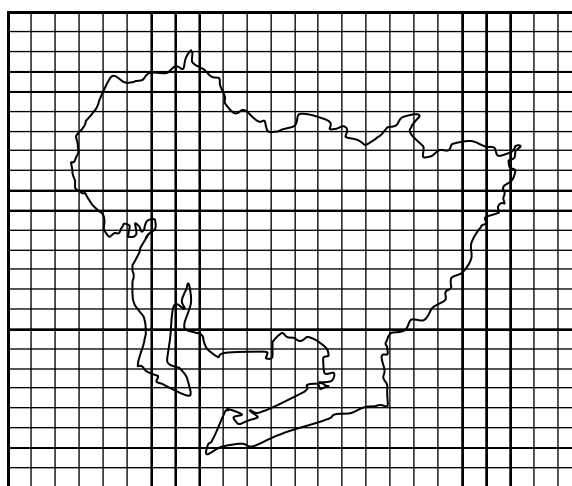
【国内の分布】

本州(関東地方および北陸地方以西) 四国、九州、琉球、小笠原。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、台湾、中国大陸、ベトナム。

要配慮地区図



【生育地の環境 / 生態的特性】

海岸の砂地に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況 / 減少の要因】

生育地は限られているが、ある場所では茎を長く伸ばし、よくひろがっていることが多い。南知多町篠島(沢井輝男 s.n., 採集日不明) 同南奥田海岸(相羽福松 916, 1980-10-9) など現在では生育が確認できない場所で採集された標本もあるので、以前はもっとあちこちにあったのではないかと思われる。

【保全上の留意点】

自然度の高い砂浜は、観光開発や護岸工事、あるいは陸地における砂防工事の進展による砂供給の停止により、全国的にも愛知県でも急激に減少している。現在砂浜や砂丘の状態が残されている場所は、絶滅危惧種のあるなしにかかわらず、どこも注意して保全する必要がある。

【特記事項】

葉が著しくざらつくので、ネコノシタと呼ばれる。ハマグルマともいう。暖地性の海浜植物で、この属の中では最も北まで分布している。

【引用文献】

大原準之助, 1968. 蒲郡の植物 第1集 p.38, 89. 蒲郡市教育委員会, 蒲郡.  
大原準之助, 1971. 愛知県国有林の植物誌 p.126. 名古屋営林局, 名古屋.

【関連文献】

保草本 p.64、平草本 p.175、SOS 新版 p.151,153.